



特集

# 今年も花火

## の季節がやってくる

納涼祭「夜店」も終わり、季節は夏  
毎年多くの人出で賑わう「豊橋祇園祭」を皮切りに、  
今年も花火が、三河の人々を熱くします  
豊橋祇園祭の背景や歴史、祭を支える地域の人々に触れ、  
いつもとは違った角度から花火を楽しんでみませんか



右上／市役所から見る 右中／納涼祭 右下／大筒・乱玉花火  
左上／神前奉納 左下／乱玉花火への点火

# 花火は三河の心意気 〜豊橋祇園祭より〜



## 源頼朝が建立した吉田神社

豊橋祇園祭は、吉田神社の氏子8町が中心となつて行つた吉田神社の祭礼です。吉田神社の起源は、十二世紀末の鎌倉時代の初期に源頼朝が家臣に建立させたものであると伝えられています。古くは天王宮てんのうのみや牛頭天王社ごずてんのうじやまたは吉田天王社と呼ばれ、明治2年に、吉田神社となりました。

## 戦国時代から発展してきた豊橋の花火

祇園祭の祭礼の本祭は日曜日みこしとぎよの神輿渡御などの神事ですが、現在では宵祭の手筒花火や前夜祭の打上花火の方が有名になり人もはるかに多くなっています。戦国時代から続くと伝えられる勇壮な手筒花火は、吉田(豊橋)が発祥の地と言われており、この地方

特有の文化となっています。前夜祭で上げられる仕掛花火は、江戸時代には建物花火たてものと呼ばれ、当時は日本全国に三河の建物花火が知られていました。

## 徳川幕府に保護された三河の火薬文化

徳川家康の出生地である三河は、江戸時代に幕府の保護を受け、火薬の製造を他の地域と異なり行うことができました。そのため、優秀な花火作りの職人が生まれ、三河花火は江戸時代に大いに発展しました。

## 大人になつたら手筒花火

手筒花火は、豊橋のさまざまな地域で上げられています。危険を冒しながらも上げる手筒花火には、五穀豊饒ごこくほうじょう、無病息災、家運隆盛を神に念じる

と共に、現在では、若者の大人への門出、度胸試しとしての意味合いがあります。手筒花火を上げられるのは18歳からで、それまではヨーカン花火などの小さな手筒花火を上げます。毎年、新たな若者が、手筒花火に参加し、地域の中で大人として迎えられるています。

## 伝承される技術

祇園祭の花火はすべて、花火師を職業としている人ではなく、花火の扱い方を学んだ氏子が上がります。8つあるそれぞれの町で、手筒花火の竹取の場所から縄の巻き方、火薬の調査の仕方まで特徴があり、基本的には同じ町に住む人間にしかその技を伝えません。そのため、初心者は経験者から学ぶことになり、町がまとまることにつながっています。

火の粉をかぶりながらの手筒花火



豊橋公園本丸広場から見る打上花火



# 豊橋祇園祭の日程と見どころ

7月20日(金曜日) 吉田神社境内  
 宵祭 午後6時～  
 花火奉納 午後6時45分～9時15分

吉田神社の境内で、手筒花火の奉納が行われます。手筒花火を打ち上げる前に、手筒花火を手にした氏子が、吉田神社に詣でてから始めます。今年は大筒7台・乱玉6台に手筒花火は約3百本打ち上げられます。

## 見どころ

初めに参道で上げる手筒の神前奉納は、迫力があります。祇園祭奉賛会長が1本上げ、その年の中心となる年番の2町(今年は上伝馬町と本町)が1本づつ上げ、残る6町が1本づつ上げていきます。

手筒花火は、町によって使用する火薬や作成方法などが異なるため、町ごとの特徴があります。今年、年番の上伝馬町の手筒は、火を絶やさず上げ続ける「乱れ奉揚みだれほうよう」が見どころです。



町中を練り歩く大筒花火・乱玉花火

7月21日(土曜日) 豊川河畔  
 前夜祭 午後6時50分～9時20分

豊川河畔の夜空を仕掛花火、打上花火、金魚花火、スターマインなど多種の花火が彩ります。大小合わせて1万2千発の花火が上がります。

## 手筒に初挑戦!



昨年初めて手筒花火を上げた  
 中山雄貴さん(新本町)

緊張の連続  
 失敗は許されない

自分で上げる花火は、自分で作ります。縄巻きや火薬の詰め作業は、分からないことだらけでした。でも、ここでしっかりと作っておかないと、火を点けたときに破裂して、けがなどの失敗につながります。私個人の失敗で、けがをしたとしても、祭が中止になってしまうこともあるわけです。長年祭を支えてきた方々に顔向けできないですから、緊張しました。

だからこそ、花火の制作中は年輩の人の指示に従い遅れないようついでついでにやりました。忙しいですが、楽しいですよ。

今年は、二年目になるので、手筒を上げるときの姿勢をきれいに見せたり、火薬の量を増やしたりするなどして去年とは異なった挑戦をしたいですね。

現在祇園祭を実施している8町は、昔の町の単位で、今の町名(新本町)とは異なる集まりになっている。中山さんは指笠町に属している。

右から順に、「竹取り」、「竹の筒抜き」、「縄巻き」、「火薬の下地作り」、「火薬の詰め作業」



## 見どころ

花火業者は打上花火を、各町から色合いなどの指示を受けて、制作をします。そのため、通常では花火業者が作らないような花火が作られ、他の地域では見ることができない花火も多くなるのが祇園祭の魅力です。交通規制があるところは、毎年混雑しているため、少し離れたところからの方が、ゆっくり見られます。



豊川に設けられた打上場

## 7月22日(日曜日) 吉田神社ほか 御幸祭 午後5時

夕方5時から、御幸祭が始まります。吉田神社からわくぐり神社(新本町)を目指し、幼少の頼朝の行列を再現した神輿渡御が、町を練り歩きます。源頼朝の格好をした子どもが馬に乗った姿、要所では赤い装束をまとった3人の笹踊を見ることができます。

## 見どころ

1547年に今川義元が、神輿を寄進したときに始まったと伝えられる歴史ある神輿渡御は、列の最後に続く「饅頭配」が配る饅頭を食べると厄払いになると言われています。頼朝や、笹踊りなどの役柄は、毎年同じ町の人



吉田神社から出る前の神輿

### 豊橋祇園祭写真コンクール

8月20日(月)までに(〒440-0891 関屋町2豊橋祇園祭奉賛会「写真コンクール」係 ☎53・5528)

### お願い

市民病院跡地(松葉町三丁目)は、こども関連施設「ここにこ」建設中のため、一般開放をしません。当日は、混雑が予想されますので公共交通機関をご利用ください。橋の上での花火見物をご遠慮ください。ゴミは各自でお持ち帰りください。

この特集へのご意見・感想をお寄せください

広報広聴課  
☎51・2166

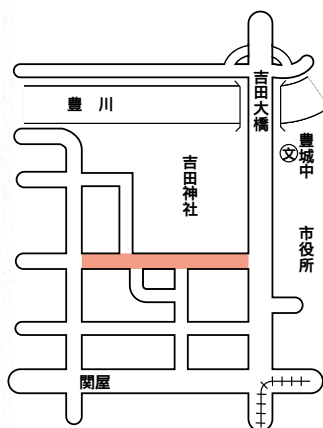
祇園祭に関する問合せ先  
豊橋祇園祭奉賛会

☎53・5528

http://gion.org

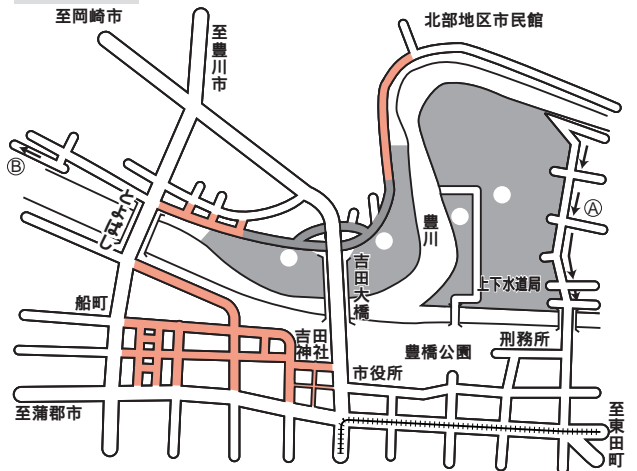
### 交通規制など

#### 20日(金)



午後6時~10時  
歩行者用道路

#### 21日(土)



(印は打上場)

- 立入禁止区域 午後5時~8時30分 午後5時~10時
- 歩行者用道路 午後5時~10時 午後5時~9時30分
- の堤防道路は午後0時~10時駐車禁止
- 一方通行 A 午後5時~8時30分 B 午後6時~10時